保育所における
子どものトイレ・排泄実態に関する
アンケート調査

2023年11月30日

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

Labo.
日本トイレ研究所

1 調査概要

調　査　目　的　：保育所における子どものトイレ・排泄の実態を把握する

調　査　対　象　：都内の保育所

調　査　方　法　：アンケート用紙を郵送し、ファックス、メールまたは郵送で回答

調　査　期　間　：2023 年 5 月 12 日（金）～ 6 月 15 日（木）

回　　答　　数　：157サンプル

実　施　主　体　：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

E-mail contact_us@toilet.or.jp　　TEL 03-6809-1308　　FAX 03-6809-1412

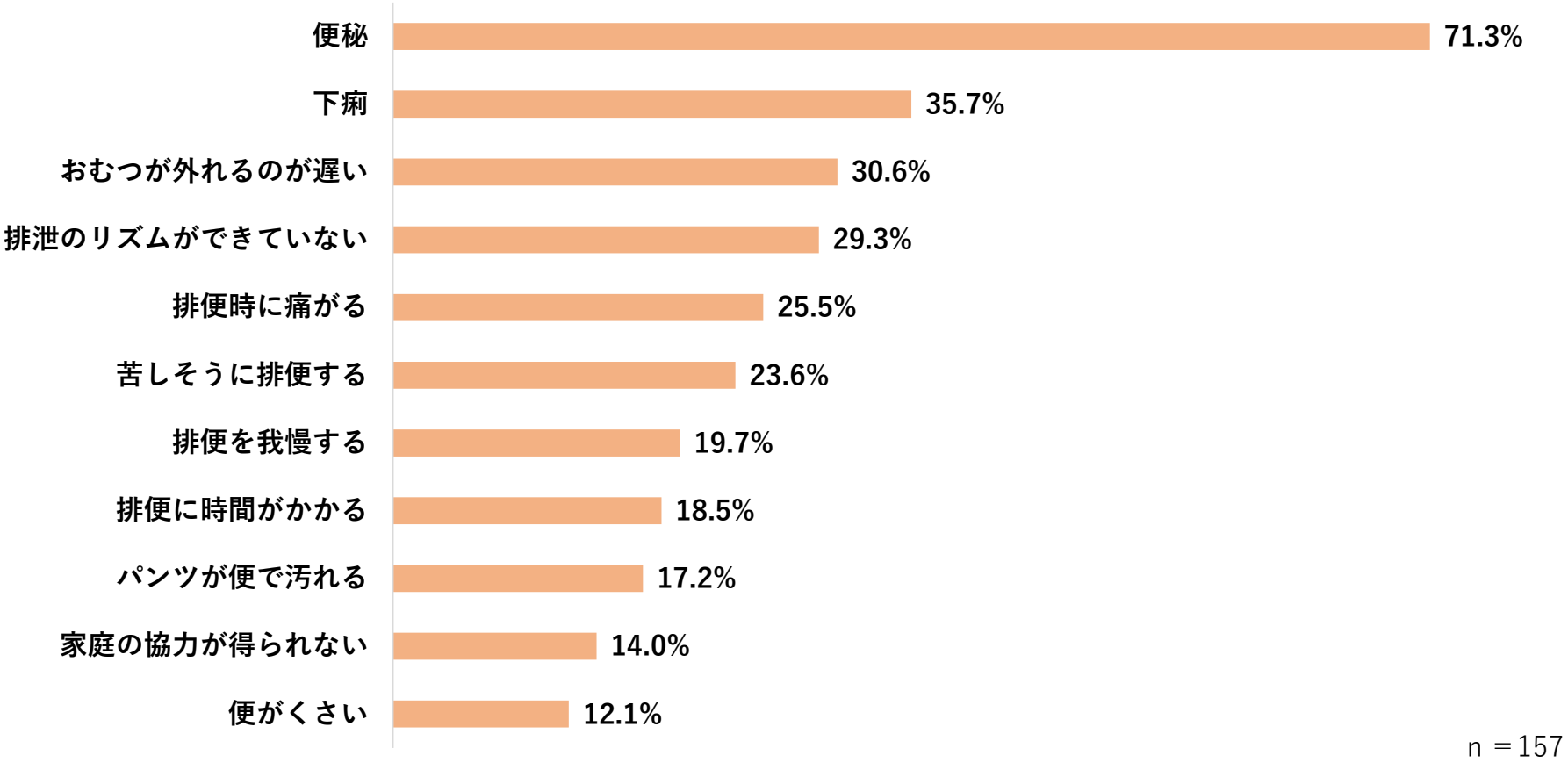
本資料を転載・引用される際は上記までご連絡の上、クレジット表記をお願いいたします。

©NPO Japan Toilet Labo

2 調査結果

Q.貴所で気になっている排泄の問題はありますか？

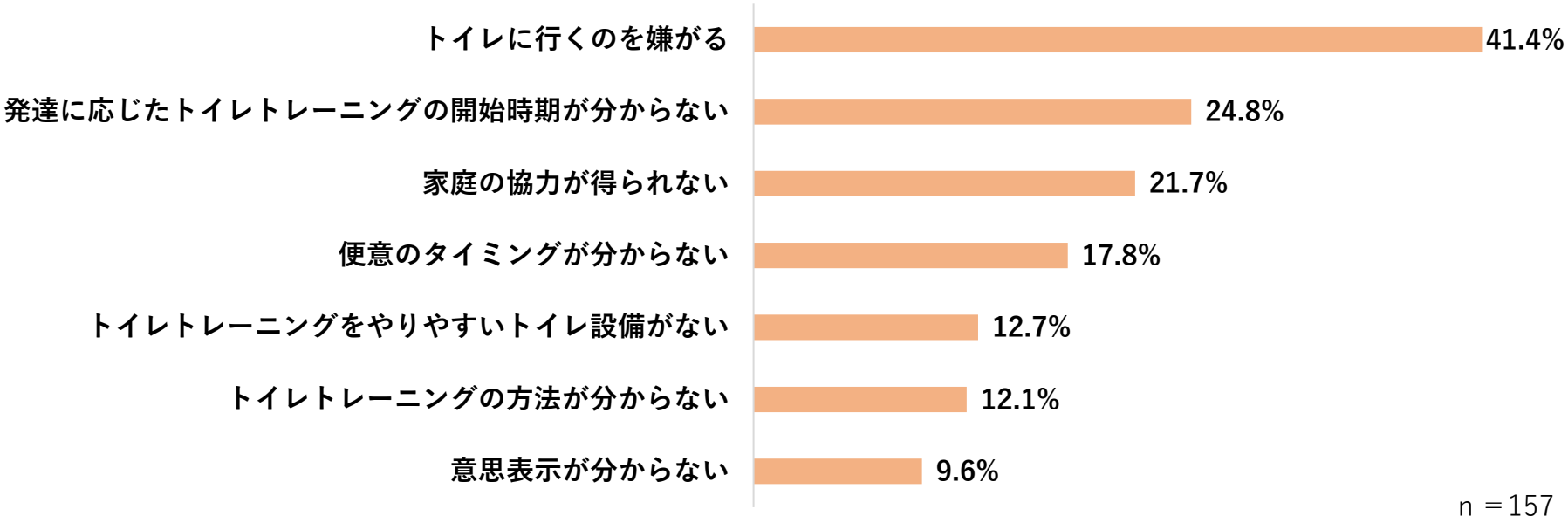
「便秘」（71.3%）が最も多く、次いで「下痢」（35.7%）、「おむつが外れるのが遅い」（30.6%）であった。



©NPO Japan Toilet Labo

Q.トイレトレーニングに関して困っていることはありますか？

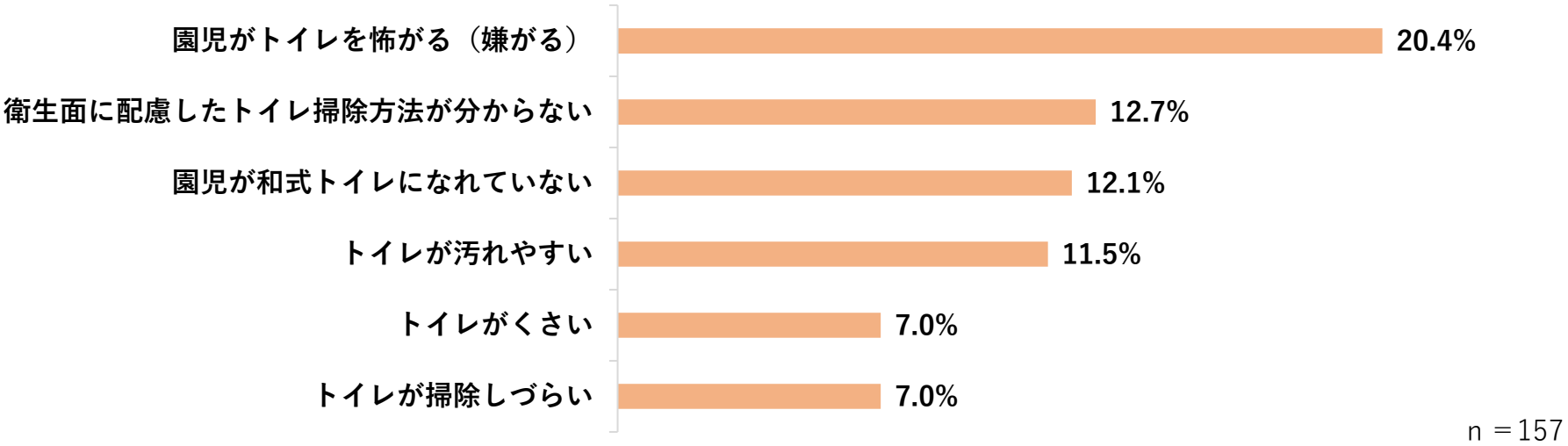
「トイレに行くのを嫌がる」（41.4%）が最も多く、次いで「発達に応じたトイレトレーニングの開始時期が分からない」（24.8%）、「家庭の協力が得られない」（21.7%）であった。



©NPO Japan Toilet Labo

Q.貴所で気になっているトイレの問題はありますか？

「園児がトイレを怖がる（嫌がる）」（20.4%）が最も多く、次いで「衛生面に配慮したトイレ掃除方法が分からない」（12.7%）、「園児が和式トイレになれていない」（12.1%）であった。



©NPO Japan Toilet Labo

3 調査結果について

都内の保育所157カ所において、気になっている排泄の問題として最も多く挙げられたのは「便秘（71.3％）」でした。これは、次に多く挙げられた「下痢（35.7％）」をはるかに上回る結果です。また、トイレトレーニングに関して困っていることとして最も多く挙げられたのは「トイレに行くのを嫌がる（41.4％）」でした。

最近、子どもたちの便秘が増えているのではないかという声をよく聞きます。今回の調査結果からもその深刻さがうかがえます。トイレトレーニング時にトイレに行くのを嫌がることに関しても、その原因に便秘が隠れている可能性があります。

すっきり排便することは、食事や運動、睡眠と同様に、子どもの発育・発達や健康的な生活に欠かせない大切な要素です。しかし、保育関係者が便秘の仕組みや対処方法を学ぶ機会がほとんどないのが実態です。そのため、子どもたちの便秘に気づかなかったり、対応が遅れてしまったりすることが危惧されます。

子どもの便秘は悪化しやすいため、早めのケアが必要です。子どもたちの排便事情を正しく把握するとともに、喫緊の課題は保育関係者や保護者等が便秘について学ぶ機会をつくることだと考えます。

［その他の調査］・2019年「母親と子どもの排便に関する実態調査結果」「子どもの生活習慣および保護者の意識に関する調査」
・2020～2022年「小学生の排便に関する記録調査」
・2022年「小学生と保護者の排便に関する意識調査」
・2022年「0～3歳児の排便、トイレトレーニング、食事・栄養、睡眠に関する困りごと調査」

Labo.
日本トイレ研究所
www.toilet.or.jp

「トイレ」をとおして社会をより良い方向へ変えていくことをコンセプトに活動しているNPO団体です。
近年は「子どものトイレ・排泄環境」「災害時のトイレ・衛生環境」「街なかのバリアフリーなトイレ環境」に力を入れています。